

＝令和元年度早川南小学校だより＝

はるき



令和元年12月18日

No.37

校長 坂野修一

## 春木っ子タイム 発表会終わる！

「今年の漢字」が先週発表されました。順当な「令」の字になりました。今年の流行語大賞も、順当な「ONE TEAM」でした。順当ではなかったのは、卓球の平野美宇選手がオリンピックシングルス代表出場権を逃したことです。最後の2戦、石川選手と中国の選手に連敗し、決まりかけていたシングルス代表の座を逃しました。試合に負けた直後のミックスゾーンでの会見…。かわいそうで見えられませんでした。年明け6日には正式発表があるようですが、せめて団体戦のメンバーに選ばれないかあと思うばかりです。また、聖火ランナーも発表になりました。池江璃花子選手が退院しました。子どもたちの将来に大きな影響を与える大学入学共通テストでは、混乱が続いています。毎日毎日、話題に事欠かない1週間でした。令和元年も残り2週間で切り、2学期は1週間で切りましたが、皆勤で過ごしたいですね。

さて、本校では、総合的な学習を異年齢で行っています。今年度は、「猟」班と「トロッコ」班の二つに分かれて取り組みを進めてきましたが、昨日、今年の春木っ子の発表会が行われました。



「猟」班では、本校保護者の手塚さんに教えていただいたことや、子どもたちが調べたことを発表してくれました。「雄の鹿にはなぜ角があるのか？」なんていう疑問にも、「へー、なるほど…」という答えを教えてくださいました。他にも猟犬のこと、おとりわなのことなど、私が知らないことばかりでした。ついこの前も、鹿さんたちが本校の校庭で夜の運動会をしたようです。たくさんの糞もお土産に置いていってくれました。悪さをする鹿は駆除されてほしいと思いますが、今回鹿のことが分かったので、鹿が可愛いと思うようにもなりました。手塚さん、ありがとうございました。

「トロッコ」班では、上流研の上原さんにお世話になりました。昔は、早川町内をトロッコが走っていて、その軌道が学校の近くの春木橋に残っていることを教えていただき、その名残がある場所を実際に訪ねてみるなど、学校を飛び出しての活動を多くすることができました。本村を訪ねた時には、実際にトロッコに荷を詰める作業をされていた望月勝海さんに、トロッコの模型を作っていただきました。今でこそ車社会の早川町ですが、昔はトロッコや馬車が行きかっていた話を聞き、のどかな村の様子を想像してみることができました。上原さん、勝海さん、ありがとうございました。



昨夜、上流研の理事会が行われ、上流研の理事である私が参加してきました。上流研には、この間掘り起こしてきた地域資源や情報がたくさんあります。その知的財産を使わない手はありません。理事会の話し合いの中でも、今後の「春木っ子タイム」において上流研のスタッフがかかわっていただけることを確認してきたところです。総合的な学習「春木っ子タイム」は、上流研の皆様ばかりでなく地域や保護者の皆様にゲストティーチャーになっていただくことも多いことでしょう。そんな時に、スクールバスで小回りが良くどこにでも学校外で学習できる体制にも感謝です。

本校のFacebookでも、子どもたちの「春木っ子タイム」の様子をお伝えしたこともありますが、上流研のスタッフブログ「はやかわ日記」でも、本校の子どもたちの活動が掲載されています。是非ご覧になっていただけたらと思います。

検索: [はやかわ日記](#) または、直接入力 <http://blog.joryuken.net/>